

熱田神宮とその神事

熱田神宮は旧官幣大社で、三種神器の一つ「草薙剣」を祀る。



「草薙剣」は素戔鳴尊が八岐大蛇を退治されたとき、その尾から取り出し天照大神に奉った「天叢雲剣」。天照大神はその孫・瓊々杵尊にこの剣を授けられ、その後10代垂仁天皇のとき倭姫命により伊勢の神宮に移され、日本武尊の東征の折、倭姫命より剣と火打石・火打金の入った御囊（みふくろ）を賜った（この火打ち石と火打ち金は、埼玉県の新羅神社の神体山である新羅山に埋められていると伝える）。その後、日本武尊は尾張国造の建稲種命の妹・宮簀媛命と婚約し、東征するが焼津で焼かれそうになった時、草を薙ぎ伐って日本武尊を救った（そのことから「草薙剣」とも呼ばれる）。尊が東征を終え尾張に帰着した際、宮簀媛命と結婚。剣を宮簀媛命にあずけ、伊吹山の神の征伐に向かうが、伊吹山の神に神のご正体であるのに、神の使いであろうから帰路成敗すると言いつつ山頂にむかう（↓は『尾張名所図会』より）。



それが間違った「言上げ」であったため、尊のからだは衰弱し薨去。宮簀媛は、日本武尊との約束により、その剣を守っていくが、老い衰えたため、社地を定め、剣を祀ることとした。その際、社地に楓の樹があったが、自然に燃えて水田に倒れ、その火が、いつまでも消えず、周囲の水田が熱くなったので「熱田」と呼ばれるようになった。その後、剣は新羅僧・道行により盗まれるが返却され、皇居に祀られたが、天武天皇朱鳥元年（686）天皇のご病気の原因が草薙剣の^た祭りであるということから熱田社に戻され、現在に至る（江戸期にこの地は東海道五十三次の「宮の宿」で「宮の渡し」が当宮の南に残る。この地より海上7里（28km）桑名宿へと向かう。

<祭神>

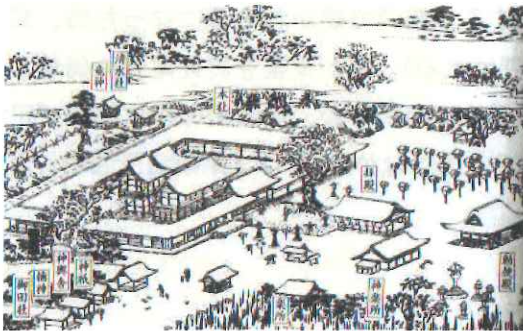
主祭神 熱田大神（あつたのおおかみ）。相殿神 天照大神（あまてらすおおかみ）素盞鳴尊（すさのおのみこと）日本武尊 宮簀媛命（みやずひめのみこと）建稲種命（たけいなだねのみこと）

拝殿手前右に国重文「信長塀」がある。信長が熱田神宮にて桶狭間の戦いの戦勝を祈り勝利を得たが、



その際、感謝して寄進したもの。

拝殿に進むと、奥に瑞垣・内玉垣・外玉垣の三重の垣根で囲まれた正殿が立つ。正殿は神明造で、正殿から見て左右に東宝殿と西宝殿がある。近世の熱田神宮は、尾張造りという建築様式（『東海道名所図会』↓）であった。



明治 26 年、三種神器を祀る宮として伊勢の神宮と同じ様式に改められた。

断夫山（だんぷさん）古墳

熱田神宮公園内にあり、県最大の前円後円墳。熱田台地南西の標高約 10m の地点に立地。全長 150m。後円部：直径 80m 高さ 13m、前方部：長さ 70m 幅 120m 高さ 16m。宮簀媛命を葬ると伝え、宮簀媛は日本武尊と結婚した後、未亡人となったが、夫を持たなかった。



白鳥古墳 法持寺の隣りにある（明治までは法持寺の所管）。明治9年（1876）～昭和20年まで熱田神宮所管。戦後、名古屋市所管。白鳥御陵とも称され、日本武尊の御陵と伝える。6世紀初頭の前方後円墳で、墳丘の長さ70メートル。後円部：直径45メートル高さ6.5メートル。前方部：長さ30メートル幅55メートル高さ7メートル。



熱田神宮の神事

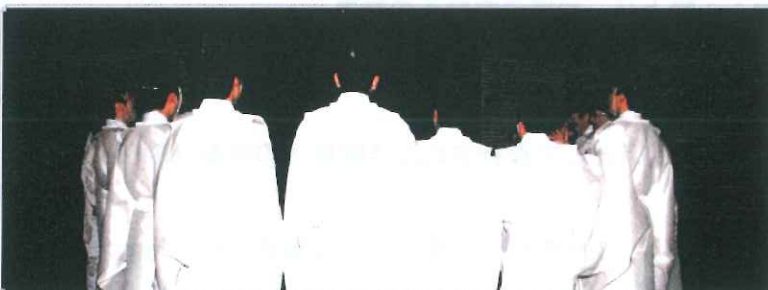
1 踏歌神事（とうかしんじ）

平安朝時代の宮中行事の流れを汲む踏歌神事で、桜を冠にかざして舞い、早春の大地を踏み、除厄と招福を祈る。1月11日午前10時と午後1時。



2 酔笑神事（えようどうしんじ）

草薙剣にかかわり深い夜の祭りで、神体の草薙剣が熱田にもどった故事を今に伝えるもの。境内の灯りをすべて消して行われる。5月4日午後7時。



3 世様神事（よだめしんじ）大幸田神社（おおさきだじんじゃ）の社頭で行われる農業神事。1月7日午後2時。



4 歩射神事（ほしやしんじ）直径六尺（1.8m）の大的（おおまと）に向かって六人の射手（いて）が矢を放つ。1月15日午前10時と午後1時。



5 祈年祭 3月17日午前10時より行われる恒例祭。熱田神宮は境内社の別宮一社、摂社八社、末社十八社、境外社の別宮一社、摂社十二社、末社三十一社の計四十五社の集合体であるが、そのすべての宮で斎行。



6 舞楽神事（ぶがくしんじ）5月1日午前10時半より神楽殿前庭で行われる神事。

7 神輿渡御（しんよとぎよ）5月5日午前10時より本宮より西門までの神輿渡御が行われる。

8 御衣祭（おんぞさい）5月13日午前11時より、神様の衣替えの神事。

9 摂社高座結御子神社祭（せっしゃ・たかくらむすびみこじんじゃさい）6月1日正午「井戸のぞき」など、子育ての神としての信仰を集める高座結御子神社の神事。

10 例祭、6月5日、宮内庁より勅使がこられ、勅祭として斎行される年間最大の神事（勅使による御告文の奏上と奉幣の儀が行われる）。

11 御田神社御田植（みたじんじゃおたうえ）6月18日午前10時より摂社御田神社で行われる御田植神事。

12 新嘗祭（にいなめさい）10月17日午前10時より行われる新穀感謝の神事。

13 御煤納め神事（おすすおさめしんじ）12月25日午前10時より行われる煤はらいの神事。